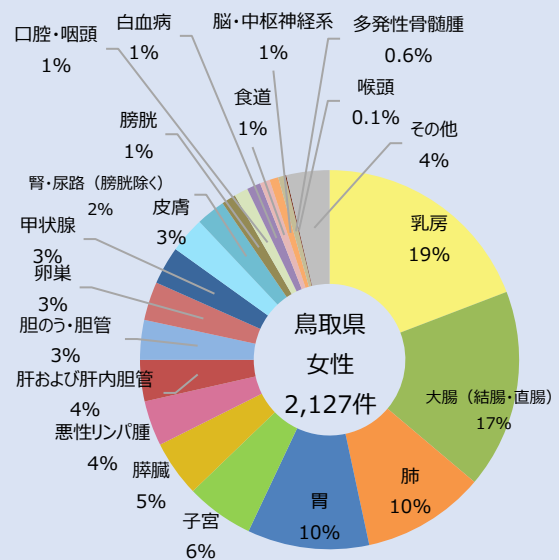
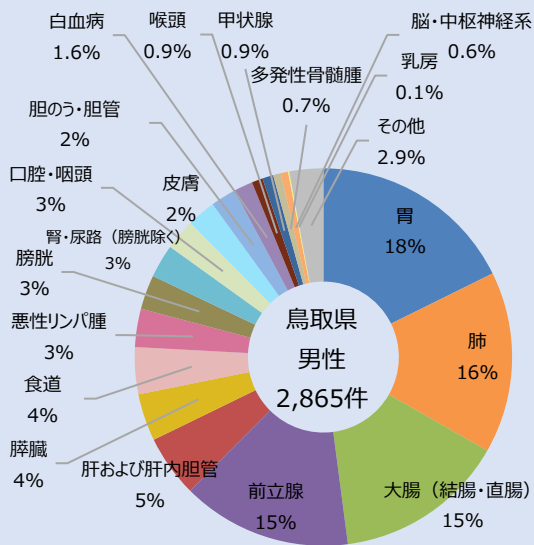
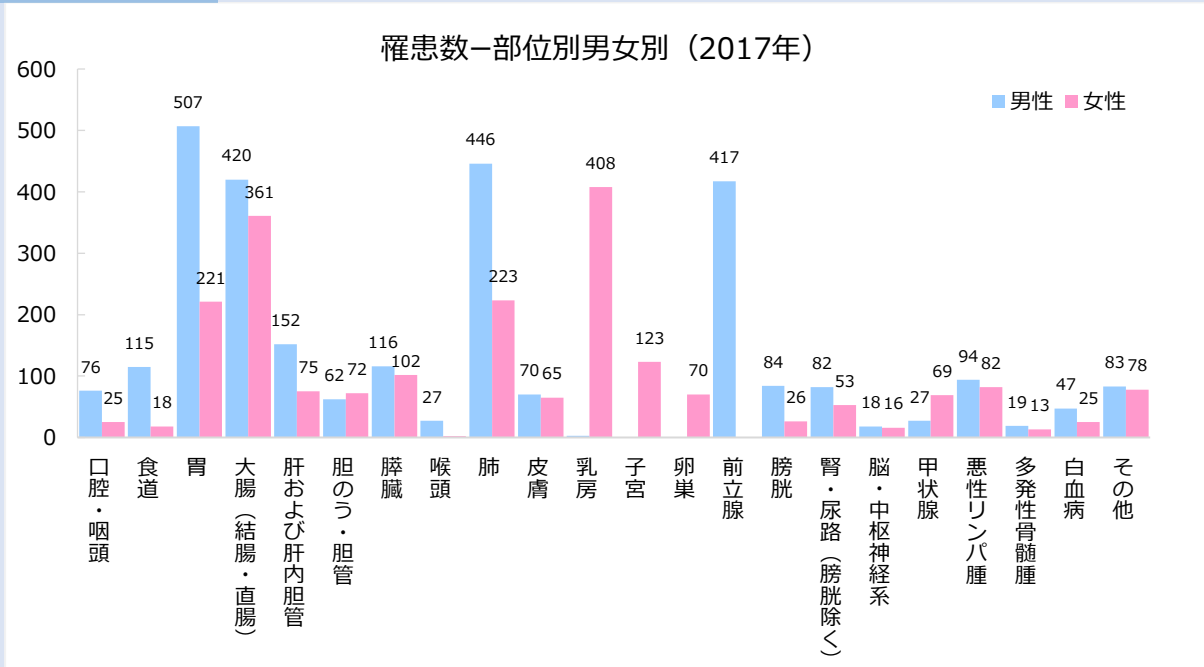


# 鳥取県のがん罹患と死亡の現状（2017年）

鳥取県のがん罹患の現状は、「**全国がん登録**」と「**院内がん登録**」によって把握することができます。

## 全国がん登録



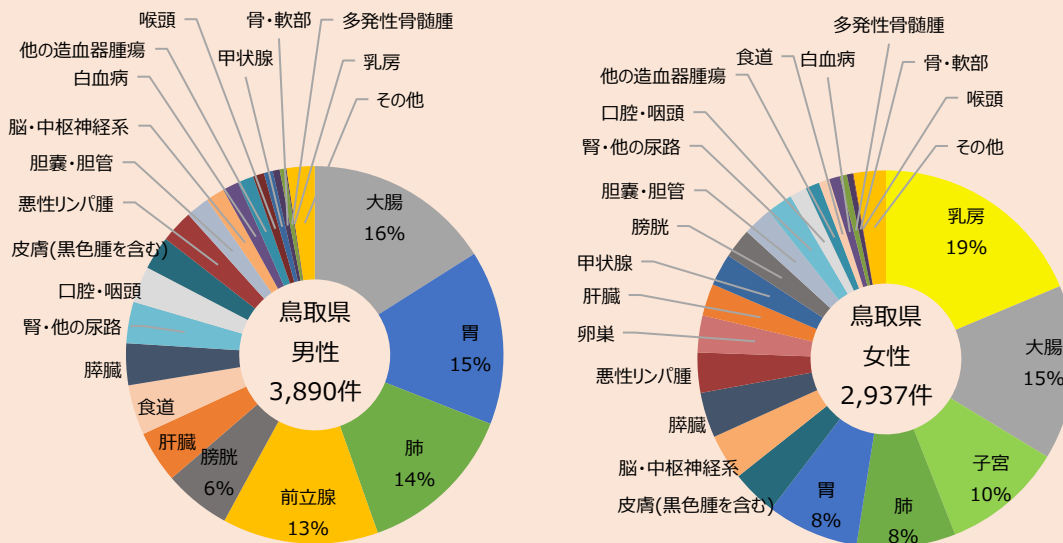
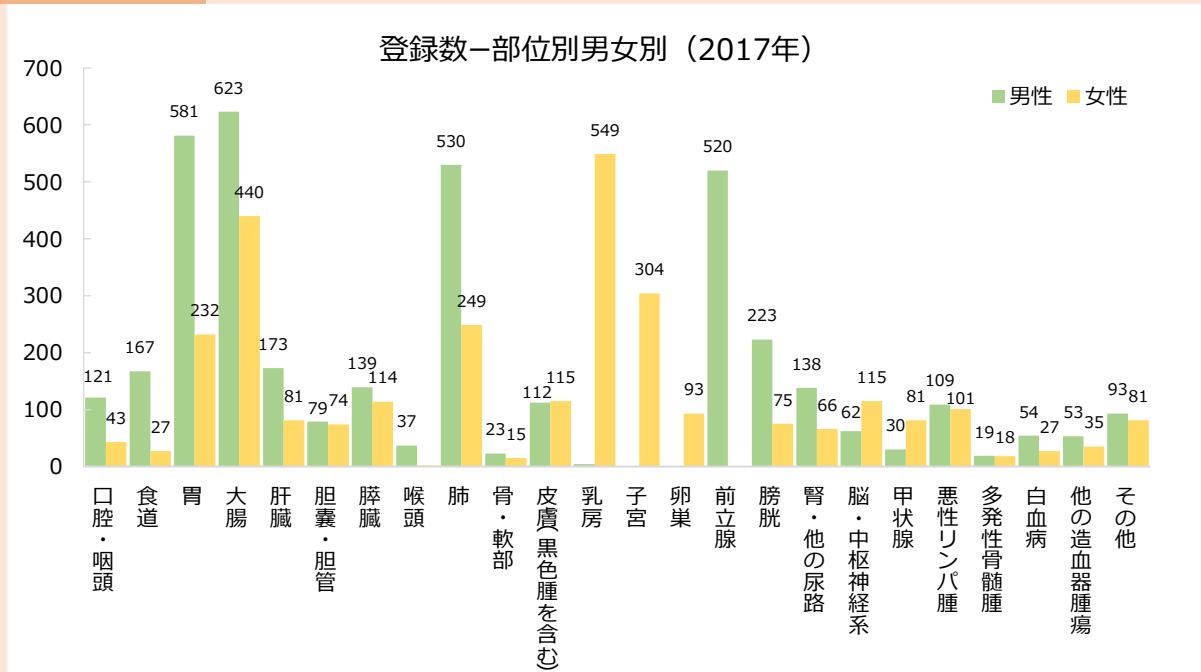
上皮内がんを除く全部位の罹患数は、4,992 人です。全がんに占める割合は、男性 2,865 人（57.4%）女性 2,127 人（42.6%）です。

罹患数の順位を部位別に見ると、男性において罹患が最も多いのは胃507人、次いで肺446人、大腸420人、前立腺417人、肝152人の順。

女性においては、罹患が最も多かったのが、乳房408人、次いで大腸361人、肺223人、胃221人、子宮123人の順。

全国と比較すると、女性は概ね罹患数の部位別順位は同じですが、男性では前立腺の順位が全国第1位に対して鳥取県は第4位と低い。

## 院内がん登録



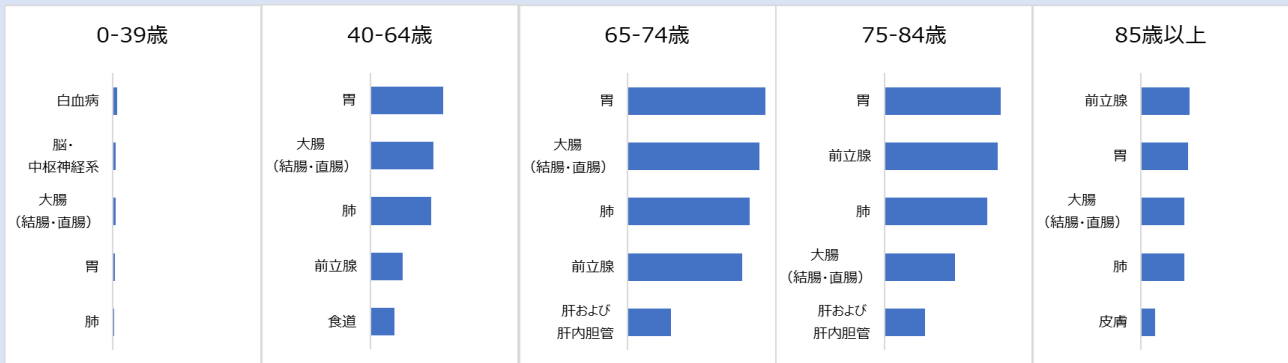
登録数は、男性は3,890件、女性は2,937件で合計は6,827件となります。

部位別には、男性では、大腸が最も多く623件、次いで胃が581件、肺が530件、前立腺が520件、膀胱223件、女性では、乳房が最も多く549件、次いで大腸が440件、子宮が304件、肺が249件、胃が232件の順。

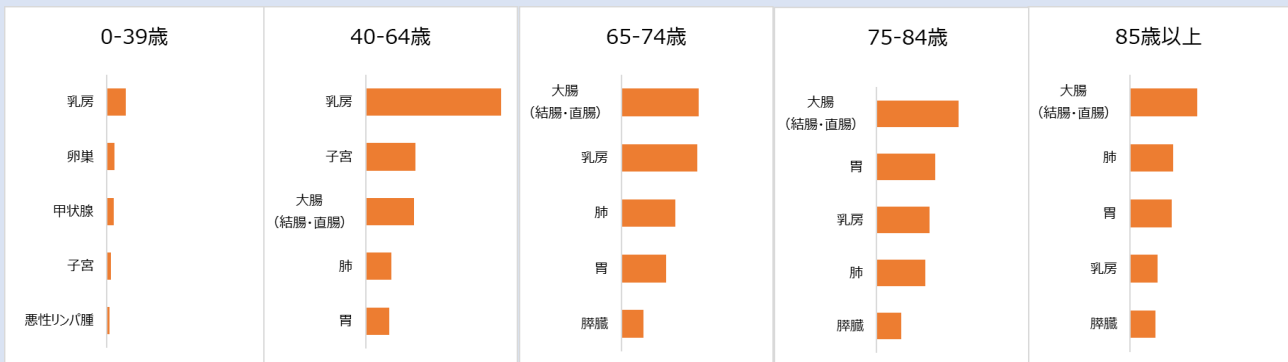
男女別割合は、男性が57%、女性が43%で、脳・中枢神経系、甲状腺以外のほとんどの部位で男性が多い。男性の登録数が女性の登録数の2倍以上を示す部位は、食道で最も大きく6倍、次いで膀胱、口腔・咽頭が3倍、胃、肝臓、肺、腎臓などが2倍となります。

## 全国がん登録から見た鳥取県のがん罹患の現状（2017年）

### 年齢区分別上位5部位（男性）



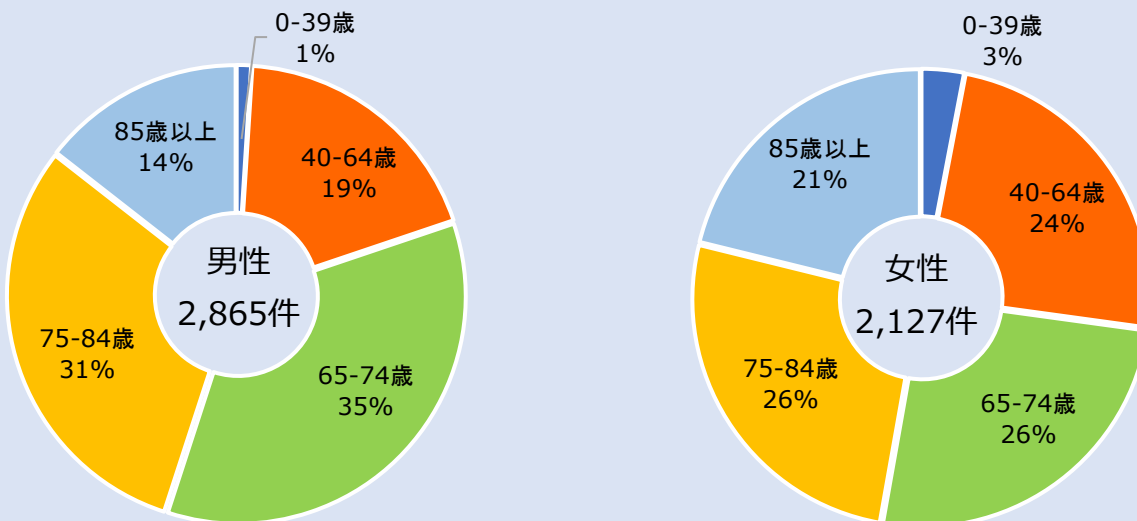
### 年齢区分別上位5部位（女性）



男性の0-39歳代では、白血病が最も多く、次いで脳・中枢神経系、大腸、胃、肺。40-64歳代では、胃が最も多く、次いで大腸、肺、前立腺、食道の順であった。65-74歳代では、胃、大腸、肺、前立腺がおしなべて多く、次いで肝、75-84歳代でも、胃、前立腺、肺、大腸がおしなべて多く、次いで肝、85歳以上では、前立腺が最も多く、次いで胃、大腸、肺、皮膚の順。

女性の0-39歳代では、乳房が最も多く、次いで卵巣、子宮、悪性リンパ腫の順。40-64歳代では、乳房が最も多く、次いで子宮、大腸、肺、胃、65-74歳代では、大腸が最も多く、次いで乳房、肺、胃、膵臓、75-84歳代でも大腸が最も多く、次いで胃、乳房、肺、膵臓、85歳以上では、大腸が最も多く、次いで肺、胃、乳房、膵臓の順。

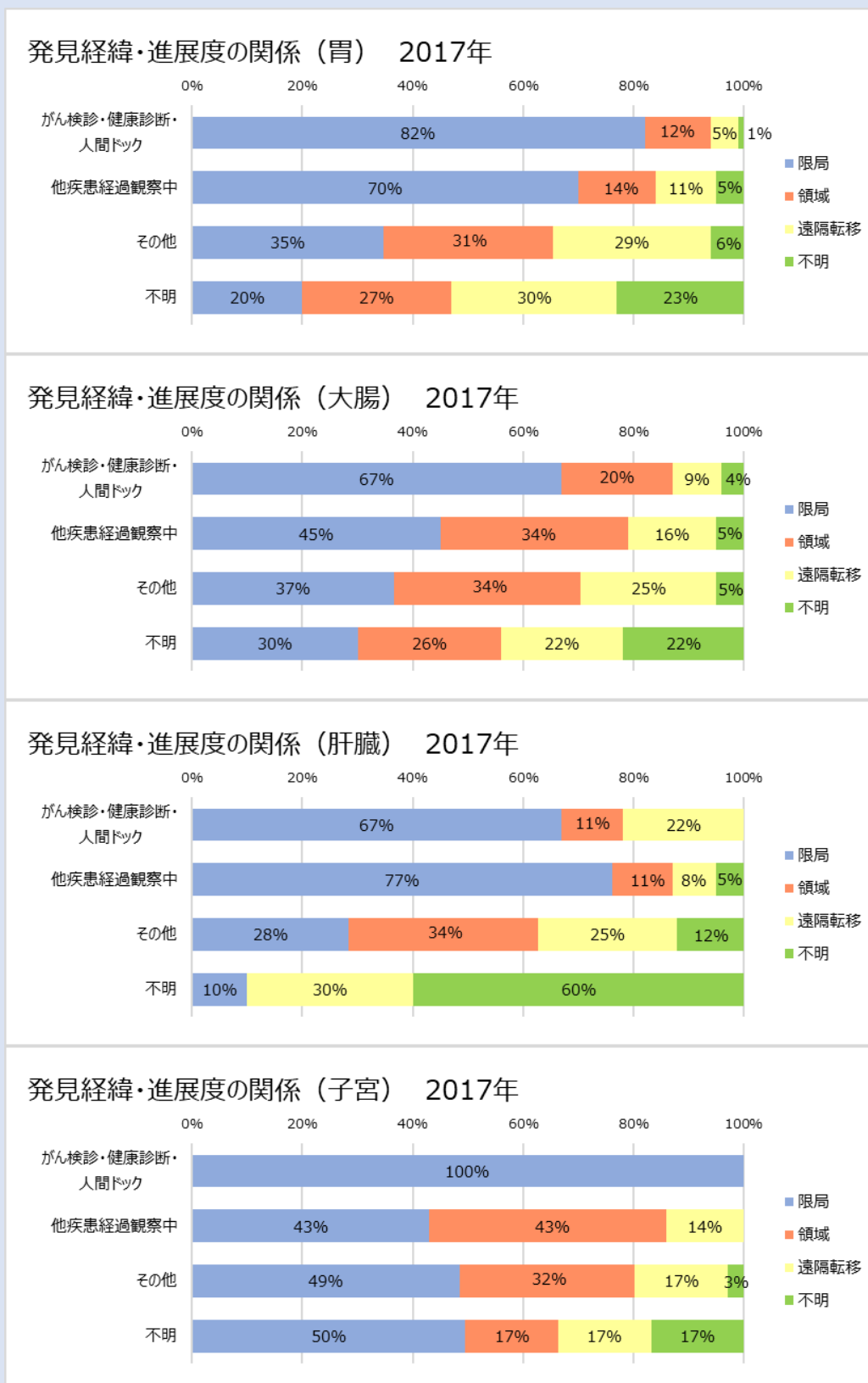
### 年齢5区分割合（%）



## 発見経緯と進行度の関係から、がん検診・人間ドック・健康診断などのがん予防効果の疫学的検証

ほとんどの部位でがん検診・人間ドック・健康診断などによるがん発見例において、いわゆる早期がんに相当する限局割合が多く、遠隔転移の割合が少ないことが認められていますが、肝臓においては遠隔転移の割合が22%と他の部位に比べ高い値を認めています。

子宮においては、がん検診・人間ドック・健康診断において限局割合が100%と高い値を認めています。

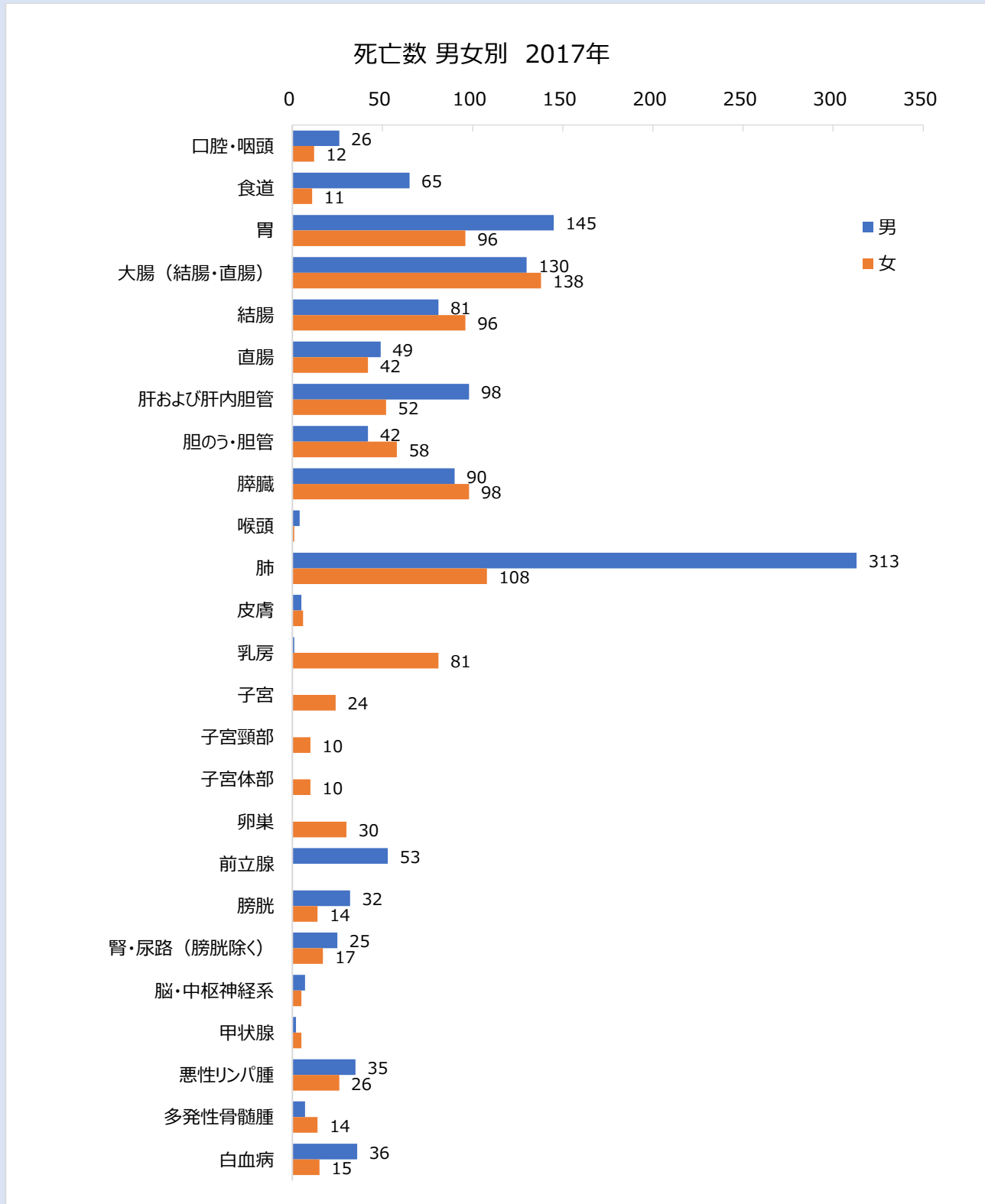


\* 参考資料 \*

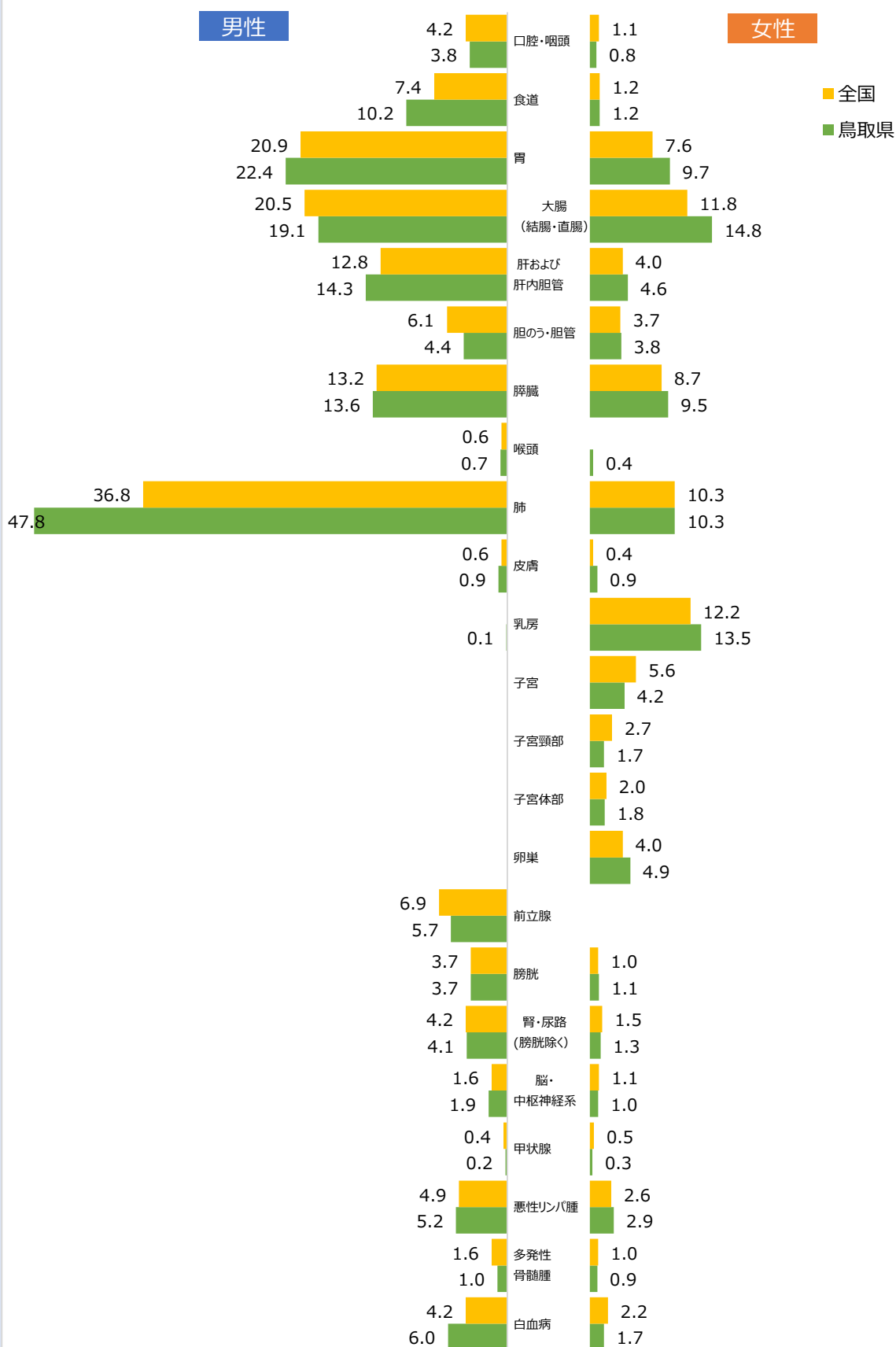
### 死亡統計から見た鳥取県のがん死亡数の現状

鳥取県において、がんを原因として死亡した者の数は、男性1,151人、女性852人、合計2,003人となっている。

部位別には、男性は肺（313人、27.2%）が最も多く、次いで胃（145人、12.6%）、大腸（130人、11.3%）の順となっている。また、女性では大腸（138人、16.2%）が最も多く、次いで肺（108人、12.7%）、膵臓（98人、11.5%）、胃（96人、11.3%）の順となっている。



# 年齢調整死亡率 全国比較 2017年

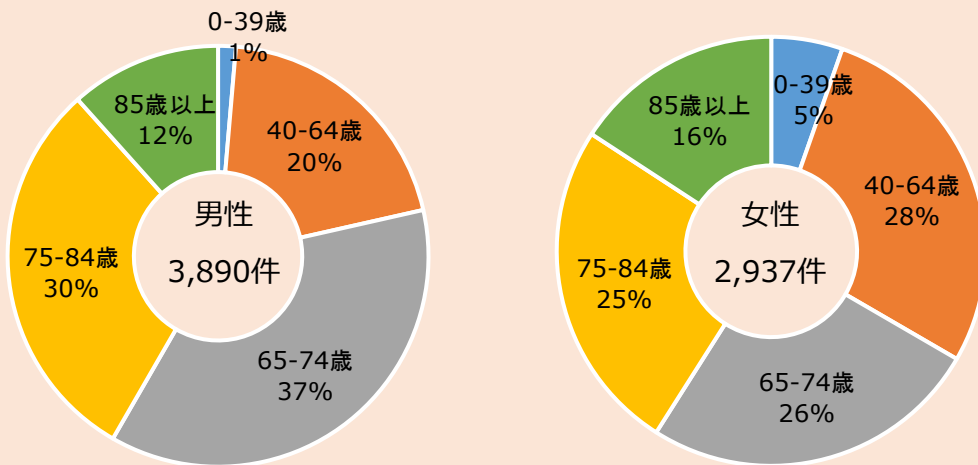


## 院内がん登録から見た鳥取県のがん罹患の現状（2017年）

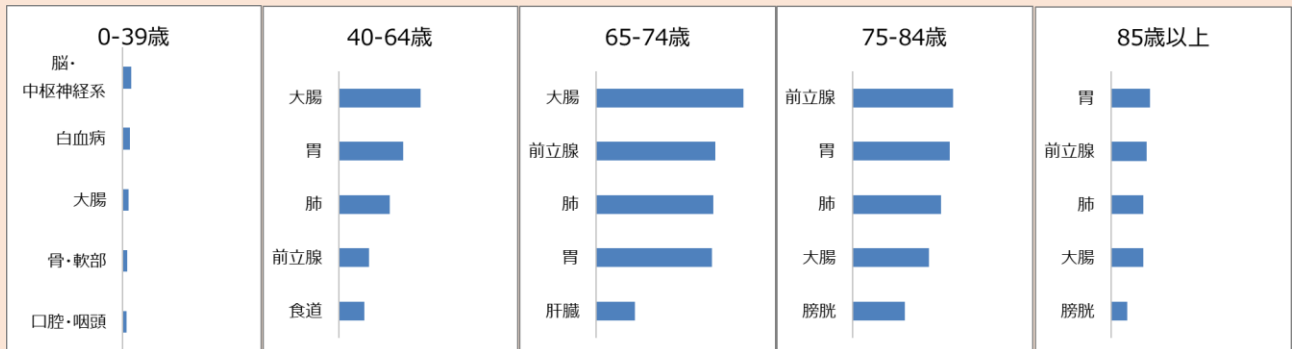
年齢区分別には、男性では、65～74歳代にピークが見られる。女性では、40～64歳代が最も多く、次いで65～74歳代、75～84歳代の順に多い。65歳以上の高齢者の割合は、男性が79%、女性が67%を占めます。

部位別には、0～39歳代の男性では、多い順に脳・中枢神経系、白血病、女性では、子宮、乳房、40～64歳代の男性では、大腸、胃、女性では、乳房、子宮、65～74歳代の男性では、大腸、前立腺、肺、胃、女性では、乳房、大腸、75～84歳代の男性では前立腺、胃、肺、大腸、女性では、大腸、乳房、胃、肺、85歳以上では、男性は胃、前立腺、肺、大腸、女性は大腸、胃となります。

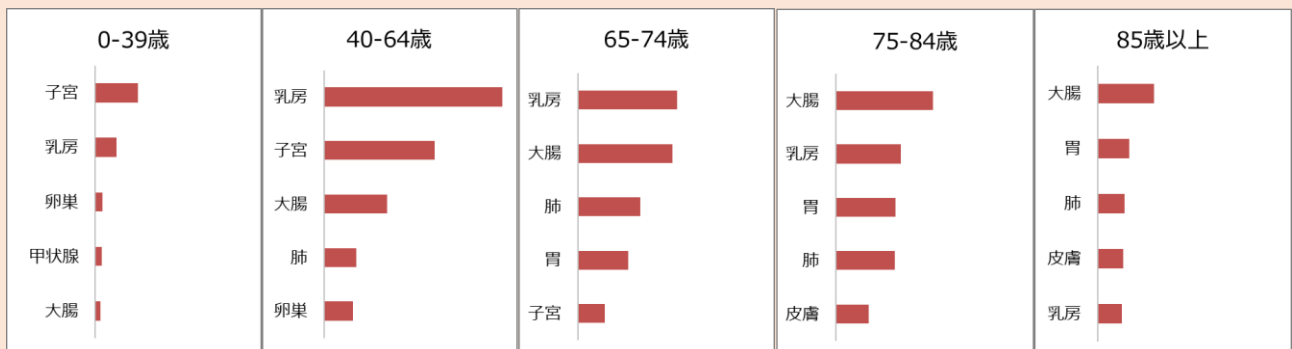
### 年齢階級別登録割合



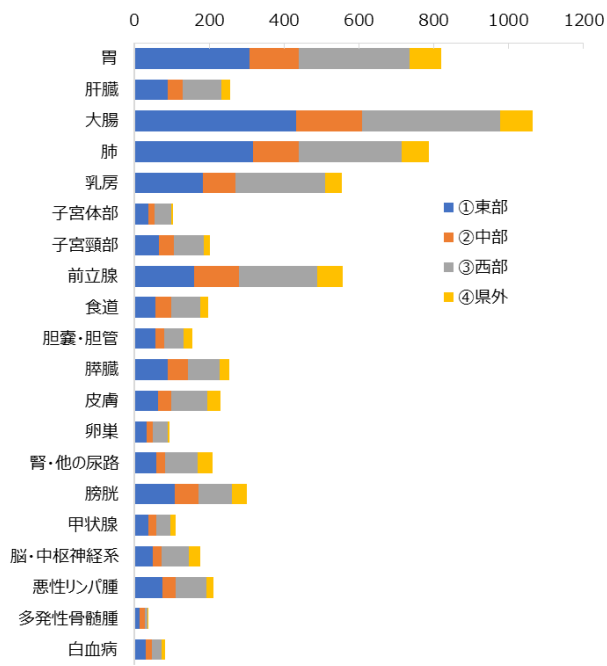
### 年齢区分別上位5部位（男性）



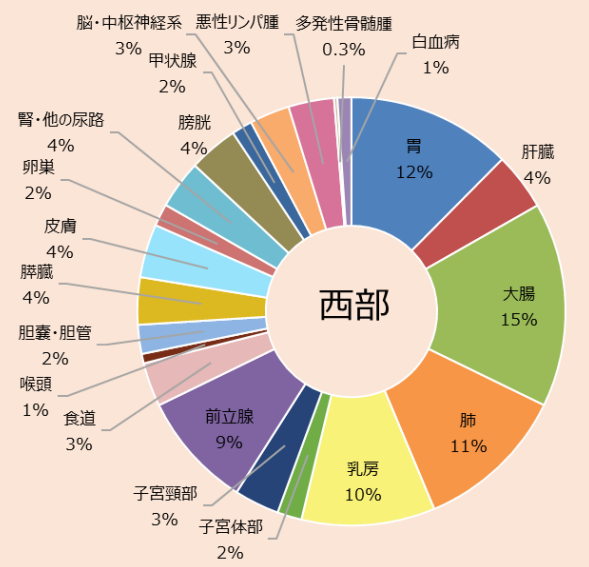
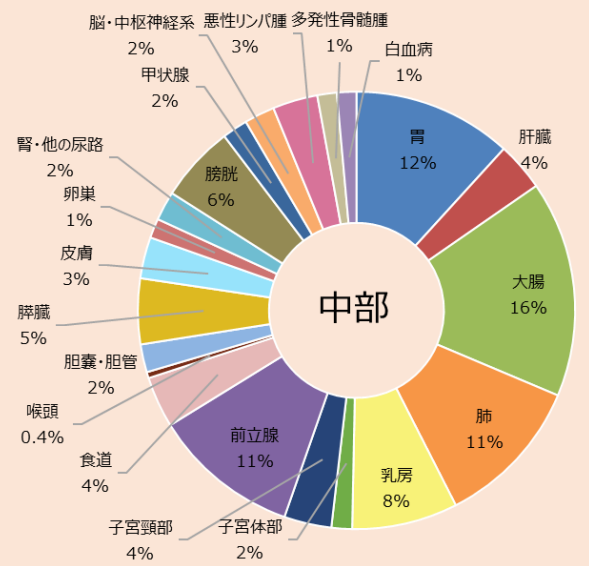
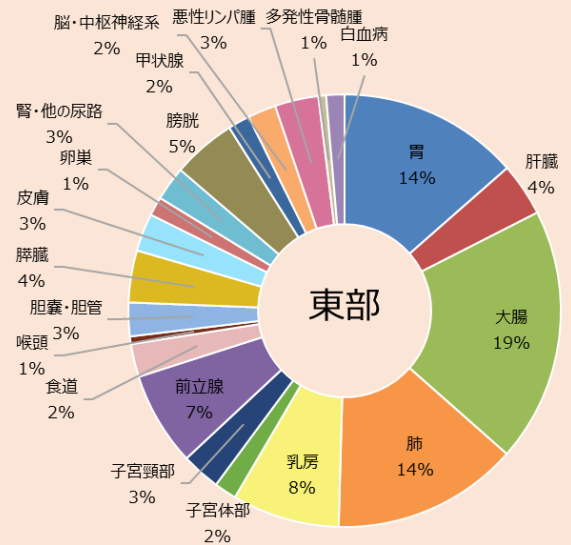
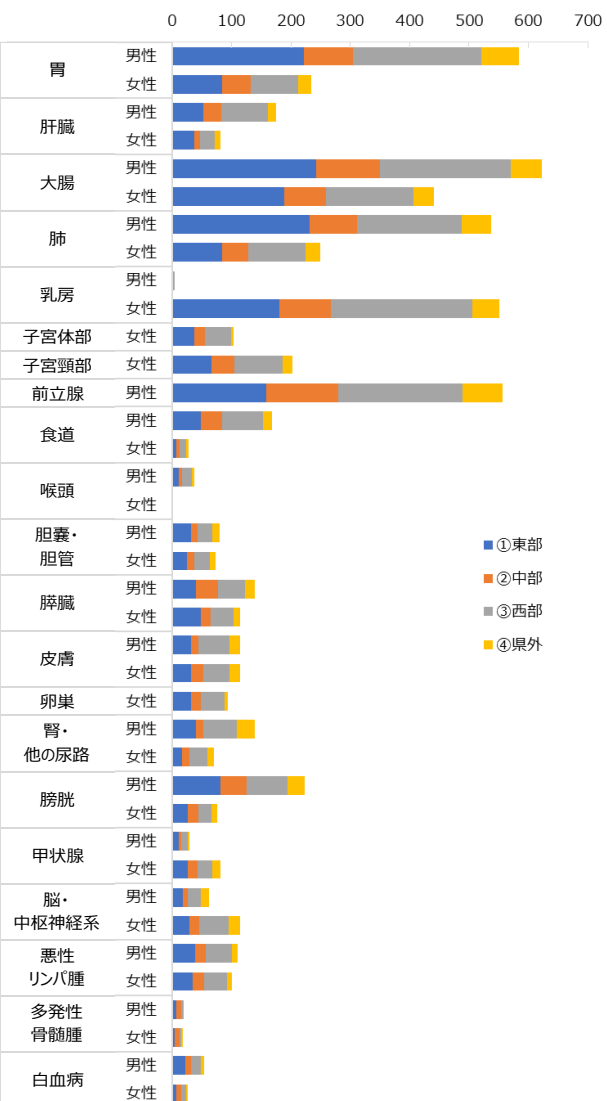
### 年齢区分別上位5部位（女性）



住所別分布 男女計



住所別分布





## 来院経路

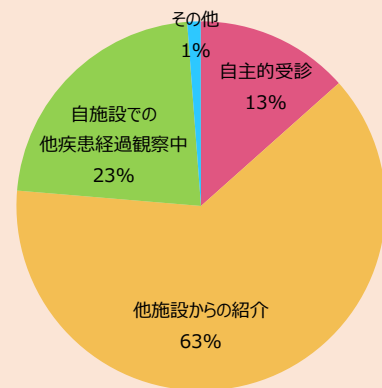
来院経路別には、「他施設からの紹介」が6割強を占めて最も多く、次いで「自施設での他疾患経過観察中」が23%、「自主的受診」は13%と少ない。

全国比較では、「自主的受診」は全国より多く、「他施設からの紹介」は全国より少ない。

施設別には、「自主的受診」は博愛病院で最も多く、「他施設からの紹介」は鳥取大学医学部附属病院で最も多い。

部位別には、「自主的受診」は乳房が最も多く、「他施設からの紹介」は前立腺が最も多い。

来院経路別登録割合（鳥取県）



## 発見経緯

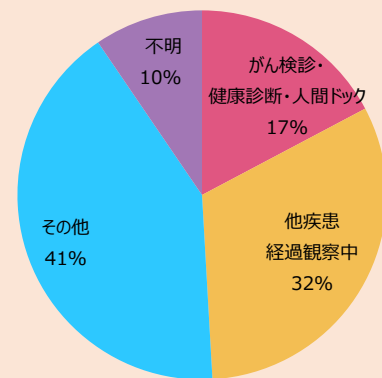
発見経緯別には、「他疾患経過観察中」が32%で最も多く、「がん検診・健康診断・人間ドック」は17%と少ない。

なお、「その他」と「不明」で半数を占めるので、実際にはそれ以上の割合になることが予測される。

全国比較では、「がん検診・健康診断・人間ドック」は、鳥取県が全国より2.5%多く、施設別には博愛病院が最も多い。

部位別には、「がん検診・健康診断・人間ドック」は子宮頸部36.8%、胃31.9%、大腸24.6%、乳房24.6%、前立腺22.9%の順で多く、「他疾患経過観察中」は肝臓が61.4%と最も多い。

発見経緯別登録割合（鳥取県）



## ステージ分布（部位別、全体）

治療前では、ほとんどの部位でⅠ期が最も多く、その割合は全国、鳥取県ともに2～8割を占め、子宮体部と胃が最も多い。Ⅱ期は子宮頸部、Ⅲ期は乳房、前立腺、Ⅳ期は肺が最も多い。

